



近畿ブロック専門部会

- ◆ 令和7年10月18日、京都市・嵯峨嵐山で開催されました。大阪支部からは重症児施設部会、在宅部会に出席しました。（在宅部会は10月8日、zoom開催をしました。）

重症児施設部会では会員減少について、個人情報保護から新規入所者家族に家族会・守る会への入会説明ができない現状。活動について多くの方に知っていただくアプローチが重要。

在宅部会では支援者不足で必要な居宅支援・重度訪問介護が受けられず、家族の介護負担が軽減されない現状の報告がありました。

近畿ブロックでの討議結果と全国各ブロックの討議結果をまとめ、全国守る会専門部会が11月29日に開催されます。

第62回 重症心身障害児（者）を守る全国大会

- ◆ 令和7年9月20日・21日北海道の札幌パークホテルにて開催されました。

1日目は障害児支援施策の動向についてこども家庭庁支援局障害児支援課・課長から行政説明があり、その後各分科会に別れました。大阪支部からは重症児施設部会、在宅部会に参加しました。

- ◆ 重症児施設部会 『これからの重症児施設の在り方』 ～豊に生きるために～

医療支援では命を守り健康を管理する。発達支援では長期のリハビリと年齢に添った療育を行う。生活支援ではQOLを考慮し施設内外の環境整備と快適さを提供する。人権を尊重し高齢化への対応についてもお話がありました。我が子が暮らす施設もですが、人材不足の中でも入所者の安全を確保するために様々な工夫をされています。

2日目の基調講演は北海道療育園での取組みと、保護者会の法人化と成年後見事業のお話があり、後見については切実な問題で考えさせられました。（YS）

- ◆ 在宅部会 『希望につなぐ移行期支援』 ～住み慣れた地域で暮らしたい～

各省庁の方から多くの情報をいただきました。当事者の自立、社会参加を支援する制度やサービス等をうまく組み合わせ、より良い生活ができるよう工夫していくことができれば良いと思います。また、北海道医療的ケア児支援センター長からは、住み慣れた地域で暮らすとは、親の目が届く範囲ということではなく、もう少し広い地域での生活も考えてもよいのではないかというお話が心に残りました。

当事者の自立を考える時、家族や医療・介助の専門職だけでなく、家族以外、同世代の健常者など広く意見を聞き、話し合うことも良いのではとお話に多くの気付きをいただきました。その反面、言葉を持たない最重度の我が子に対しどうすれば良いのかまた一つ課題ができました。（KY）



「親なきあと」相談室 関西ネットワーク

“障がいのある子”と、その“きょうだい”が
笑顔で暮らしていけるよう 知って欲しい

『親なきあと』のこと

親なきあと…

障がいのある子と共に暮らし、衣食住の面倒をみるのは、誰ですか？

その子に合った入所施設を探すのは？ 手続きは？

利用料の支払いなどの、金銭管理は、一体誰が…？

誰に、どのような形でその子の未来を託すのか。

この事は、障がい者とその家族にとって、避けては通れない問題です。



『親なきあと』への“備え方”には様々な方法がありますが、それらの方法を知っていた人だけが救われて、知らなかった人は手遅れになってしまうという不幸だけは、絶対にあってはなりません。

大切な事は、我々は平等に、選択肢を“知っている”ということなのです。

私たちは、そのような確固たる理念のもと、常に新しく正しい情報を提供し続けたいと考えています。

—— 私たちにできること ——

少しでもご不安が解消できるようにお手伝いさせていただきます。

- ◆個別相談… ご不安やお悩みを聴かせていただき、それぞれのご事情に合わせて福祉サービスや行政窓口、法的手続きなどのご紹介をさせていただきます。
- ◆専門機関のご紹介… ご要望を叶えるために必要な支援が受けられるように専門機関への橋渡しをさせていただきます。
- ◆各種セミナーの開催… 社会情勢にあわせた法改正など、最新の情報で「わからないから不安」を解消します。
- ◆「親心の記録®」のご紹介… 自分がいなくなった後、子どもと関わってもらえる方々に知っておいてほしいことを記録する「親心の記録®」の書き方をサポートします。
- ◆各種メディアでの情報発信… 必要な方に情報をお届けできるようにインターネットなど各種メディアでの情報発信を行います。
- ◆情報交換の場の提供… 当事者の経験に基づいた情報を共有する場を提供いたします。

『各分野の専門相談員が相談に乗ります！ヒヤリングは無料です。』

名 称：一般社団法人 親なきあと 相談室 関西ネットワーク

所在地：〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-17-5

スタジオ新大阪1108号室

TEL：06-6648-8949 / FAX：06-6770-9785

ホームページ：<https://oyanakinet.com/>

設 立：2019年6月 / 代表理事：藤原 由親 藤井 奈緒

お問い合わせは
こちらから



第16回『北摂重症児者の拠点作りの会』御案内

前回からの皆様のご意見を踏まえ、要望してきた施設（地域支援の拠点）の内容を整理しなければなりません。医療的ケア（呼吸器・気管切開等）の方々の『困りごと、これはおかしい』を訴え立ち上り、より具体的に活動を進めていかなければ少数派はおいてきぼりになります。

御家族の皆様、関係諸機関の方々、是非とも御参加下さいますようお願い申し上げます。尚、準備の都合上、事前申し込みを併せてお願い致します。

記

日 時： 令和7年11月27日（木） 午前10時30分～12時30分

場 所： 障害者福祉センター ささゆり園

（阪急宝塚線→箕面線「牧落」駅より徒歩約15分）

（阪急バス「箕面市役所」バス停下車、徒歩約5分）

箕面市西小路3-9-9 Tel 072-724-2940

情報

内 容： ・要望書の件 ・北摂各自治体への要望活動について
・重症児者関連の動向 ・北摂各自治体の状況
・その他情報交換など

※ 参加申込 大阪府重症心身障害児・者を支える会内 事務局
・問合せ先 TEL:06-6624-2555（転送） FAX:06-6654-6462
鈴木 祥子 090-3030-5830 中村 昭代 090-1896-8726
E-mail: shoko@sasaeru.or.jp

※ 下記必要項目をご記入の上、郵送・FAX・メールにて申込み下さい。

★ 必要項目（*開催名称、*氏名、*フリガナ、*住所、
*連絡先tel・fax・mail、*職種・所属等）

※ 申込様式は問いません。

●参加申込み 住所・FAX・メール（支える会内事務局）

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町5-15-28

育徳コミュニティセンター内

FAX: 06-6654-6462

E-mail: hokusetu@sasaeru.or.jp



支える会メール

活動報告

2025年度



令和7年度 第1回 医療的ケアを要する重症心身障がい児者等支援部会（大阪府）

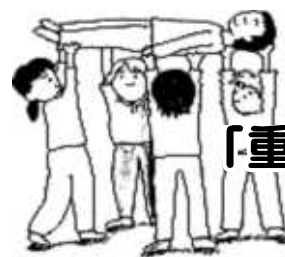
令和7年10月1日、大阪府社会福祉会館にて開催され、長谷川会長が出席しました。

大阪府における医療的ケア児者支援のための取組みについての説明、医療的ケア児等コーディネーター支援拠点などについて報告、検討が行われました。



令和7年度医療的ケア児等コーディネーター養成研修（大阪市）

令和7年10月25日、「本人・家族の思いと希望」と題して長谷川会長がお話をさせていただきました。重症心身障害を持って生まれた子どもとの生活がどのようなものなのか、医療的ケアに関することなど、家族が何に困っているのかをお伝えしています。



書籍の案内

「重症心身障がい児・者の方々への介護入門」

— 鏡の向こう側にいるあなたと —



「いつでも、どこでも、誰でも」
わかりやすい介護の入門

岸本 眞・小原 英輔 著
重症心身障害介護講習会サポート
チームアクトハウス 編



社会福祉法人
大阪重症心身障害児者を支える会発行

2016年9月発行
定価 500円（税込）

〔内 容〕

- I はじめに
- ・この冊子を出したいと思ったいきさつ
 - ・この冊子のねらい
 - ・この冊子が大切にしたいこと
- II 重症心身障がい児・者のための介護技術論入門〈8つの扉〉
- 1 寝たきりから見える世界の扉
 - 2 動けない世界の扉
 - 3 接触される世界の扉
 - 4 介助される世界の扉
 - 5 支える扉
 - 6 丸ごとの扉
 - 7 重症心身障がい児者を介助する扉
 - 8 危険の扉



III コラム〈支援の現場から見える風景〉

購入申し込み先・問い合わせ先：

「社会福祉法人大阪重症心身障害児者を支える会」事務局
〒558-0056 大阪市住吉区万代東1丁目3番19号
ゆらっとステーション内
TEL 06-6690-5360 / FAX 06-6696-9955
E-mail: center@sasaeru.or.jp

※ 振込先：

＜郵便振替＞ 00920-8-174979
社福 大阪重症心身障害児者を支える会

※ 1 冊： 500円（税込送料別途）

※ 送 料： 1冊の場合 320円
2冊～6冊の場合 430円
（7冊以降要相談）

◎ご購入は下記ご記入の上、FAXまたはメールにてお申し込み下さい。

「重症心身障がい児・者の方々への介護入門」 申込書、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、TEL（FAX）、所属など、冊数

Yeah!

会員の皆様へ



会場とオンラインのハイブリット開催

支える会「クリスマス会」のご案内

日時：
2025年12月20日(土)
14:00～16:00
(受付13:40～)

場所：
早川福祉会館（4階ホール）
大阪市東住吉区南田辺1-9-28
Tel：06-6622-0122

(着替えなど横になることができるスペースを用意しております)

*1階、「Tea Room ほほえみ」について。土曜日は「喫茶のみ」提供をされています。

内容：ゲーム、ミニコンサート（大阪ゆとりライオンズクラブの皆様方、他）

参加費：会 員（ご家族、介助者もお一人につき500円） お茶、お菓子付き
非会員（ご家族、介助者もお一人につき1,000円） " "

※ご自宅等からwebで参加をご希望の方はお知らせください。web参加無料。

※切：12月11日(木) 定 員：15組(会場)
※ 会場のみ。参加者多数の場合は抽選とさせていただきます。

主 催：大阪府重症心身障害児・者を支える会

お申し込み・お問い合わせ：（申し込みはメールでお願いします）※TEL、FAXでも可
大阪府重症心身障害児・者を支える会事務局 T.06(6624)2555 / F.06(6654)6462
mail: osaka@sasaeru.or.jp

*新型コロナウイルス等の感染状況によってはWebのみの開催となりますのでご了承ください。


メール

2025年12月20日(土) 支える会 クリスマス会参加申込書

ご本人を含め 計 名		
参加者名（ふりがな）		会 員
		<input type="checkbox"/> 会 員
		<input type="checkbox"/> 非会員
住 所／メールアドレス		
〒		
連絡先 TEL／FAX	利用用具（会場参加）	参加形態等
	※車椅子等	<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> スマホ
		<input type="checkbox"/> PC <input type="checkbox"/> 相談希望

申込書の様式は問いません

第14回大阪ショートステイ連絡協議会 公開講演会

テーマ：ショートステイに関する困りごと

日時：2025年11月29日(土) 13:30～16:30 (13時受付開始)
会場：大阪発達総合療育センター5階ホール (JR鶴ヶ丘駅より徒歩5分)
参加方法：会場参加のみ
対象：医療・保健・福祉・教育関係者など
定員：80名 (申込受付順)
申込期間：2025年10月20日～11月26日
申込方法：右記のQRコードからお申し込みください
参加費：1000円



<https://forms.gle/XDwBYayuVFfGx7P27>

プログラム

- 13:30 開会あいさつ：大阪府医師会理事 前川たかし
- 13:35 会長講演：「ショートステイ事業における困りごと」すくよか小児科 楠本義雄
- 13:55 ご案内①：「大阪府医療型短期入所支援強化事業について」
大阪府福祉部障がい福祉室 地域生活支援課長 奥野美和子
- 14:05 ご案内②：「大阪市重症心身障がい児者等医療型短期入所事業について」
大阪市福祉局障がい者施策部 障がい支援課長 北島信幸
- 14:15 特別講演：座長 ベルデさかい 児玉和夫
「当センターにおける短期入所事業について」
さわらび医療福祉センター（群馬県高崎市）センター長 金子広司
- 15:05 ご報告：「大阪ショートステイ連絡協議会アンケート調査2024年度集計報告」
大阪ショートステイ連絡協議会世話人代表 大阪発達総合療育センター 竹本潔
- 15:15 シンポジウム：「病院・療育施設・ご利用者からみたショートステイの現状と課題」
座長 堺市立重症心身障害者（児）支援センター ベルデさかい センター長 中谷勝利
大阪母子医療センター新生児科部長、大阪府医療的ケア児支援センター長 望月成隆
シンポジスト：田家由美子（大阪母子医療センター看護部）
松本久美（フェニックス看護師）
竹本由子（ご利用者）
- 16:15 連絡：「南海トラフ大地震を想定した令和7年度大阪府保健医療調整本部訓練について」
大阪ショートステイ連絡協議会世話人代表 竹本潔
- 16:25 閉会あいさつ：会長 すくよか小児科 楠本義雄
次回会長あいさつ：大阪はびきの医療センター 吉田之範



お問い合わせ先：第14回大阪ショートステイ連絡協議会 公開講演会事務局
すくよか 上野・菊野 メールアドレス：sinryou@sfj-osaka.net

【後援】大阪府、 大阪市、 大阪府医師会、 大阪小児科医会、
大阪府重症心身障害児・者を支える会、NMCS（新生児診療相互援助システム）